



新聞発刊にあたって

## ジャグリングは楽しい！！

海外、特に欧米ではジャグリングは趣味として、年齢・性別を問わずに一般に広く普及しており、数多くのサークル等団体があり 大小含め多くのフェスティバルが開催されています。

特に IJA (International Jugglers Association) は設立 51 年目、EJA (European Jugglers Association) は設立 21 年目を迎え歴史も古く、組織として活発な活動をして、毎年開催されるフェスティバルでは千～数千人規模で人を集めて、地域ぐるみの大きなお祭りとして定着しています。

やがて日本にもそんな時が訪れるのを期待しつつ、本新聞をジャグラー同士のコミュニケーションの場として利用していただけたらと思っています。



## レポート Festival Report

### 【JA フェスティバルレポート】

今年はラスベガス近郊の町で行われた。砂漠の真ん中なのでとても暑い。何でこんな不便で回りには何も無い所でフェスティバルをやるのだろうか？1995年のフェスティバルもラスベガスのホテルハシエンダ（今はもうない）で行われた。

簡単に IJA のフェスティバルがどんなものなのか書きましょう。

まず、会場に着いたら受付をすませます。受付をすませるとプログラム、Tシャツ、ボタンあるいはショーのチケットなどを渡されます。それらを鞆にしまい、とりあえずジムの中に入る（受付がジムの入り口になっている）。

この中に入れば練習をしたりおしゃべりをしたり自由です。ジムの中にはジャグラー以外の人がいいたり、あるいは赤ん坊がいったりして、和やかな雰囲気。有名な人がいたら写真やビデオを撮るのも良いでしょう、ただし写真もビデオもエチケットとして撮る前には許可を得ましょう。

ぐるっとあたりを見回して一年ぶりに会う友達にも挨拶をすませるとジムの壁際にあるジャグリングショップの見学。実際はジャグリング以外にもサーカス関連のショップや Tシャツ屋さんやなどもあります。今年は比較的沢山お店が出ていた。

それも一通り見終わると今度は受付で買ったプログラムを開きワークショップのチェック！（これが重要！）ワークショップは5日間で見切れないくらいあります。沢山の人が無料でけちけちせず色々なことを教えてください。（ワークショップに出るとボランティア=奉仕=精神の日米の違いを感じます）

インストラクターの都合などによって時間や部屋が変更される場合がありますので、当日自分が出たいワークショップ時間と部屋をワークショップのテーブルでチェックしておきましょう。

時間は約1時間。参加者は実にお行儀が良くて熱心です。ワークショップでのビデオ撮影も断ってからにしましょう。「ダメ」と言うところは殆どないはず。私は今年3ボールのワークショップに参加しました。おっと！今年もマサヒロ水野氏と申し込んでおいたケンダムワークショップのスケジュールもチェックしておかなければ！げっ！な、なんと初日からあるではないか！俺たちやられてるよ...

夜は「サーカス・サーカス」に出演しているメンバーが中心となったショー。そうそうたるメンバーによる素敵なショーだったが照明や音響がひどかった。お金取って見せているのだからもう少しきちんと欲しかった。ショーが終わると深夜12時から始まるミッドナイト・ショー。毎晩やっていたそうですが、私は眠いので今年一度も顔を出しませんでした。

ジャグリング以外だとヨーヨーの世界大会も催されました。日本からも沢山の子供たちが参加していました。来年はホノルルで世界大会をやるそうです。IJAでは世界大会ではなく、名前を替えてヨーヨーのコンペティションは続けるようなことをデールさんは言っていました。

他にはオークション、ゲーム、ジョグリング、ビッグ・トスアップ、ナンバー・チャレンジ、チャンピオンシップ、カスケード・オブ・スターズ・ショー、ジャグリングに多大な影響を与えた人への表彰などなど。

それ以外にもハイキングやロッククライミング、ストリップ見学（ラスベガスのメイン通り）などの観光もあり、ジャグリングをしない人でお金に余裕のある人はこういったツアーに参加するのも面白いかもしれませんね。

この規模のフェスティバルとまでは行かなくても、日本でジャグリングのフェスティバルを開催するには何が必要だろうか?と考える。

先ず資金、宿泊施設、ジャグリングをする場所。これらの問題がクリアしなければいけないだろう。

もう一つ一番大事なのが「フェスティバルをやりたい」「フェスティバルに参加したい」といった意欲だろう。フェスティバルはただ出るだけでは最初の段階では弱いだろう。フェスティバルに参加する人で作り上げていくと言った姿勢がないと成り立たないだろうなあ、などと思ふ

小さくてもいいからジャグララーが年一回集まって楽しむお祭り。そんなのが出来るといいなあ。

さて、来年は是非U Aのフェスティバルに参加したい人のために少しアドバイスとヒントを。

先ず、来年のフェスティバルの日程と場所。  
・1999年7月28日(木)から8月1日(日)の5日間。  
・ニューヨーク州のナイアガラの滝の近くの町だそうです。  
・フェスティバル参加料金は、大体\$200くらい、宿泊代などは含まれません。

パスポート:行く前にパスポートの確認を。パスポートの更新は期限の切れる1年前から出来るそうです。

電話:電話は私の場合はIDCカードを毎年使っています。使い方は簡単で海外から日本へは小銭がなくてもかけられます。アメリカの公衆電話の場合は25セントを汎山用意しておかないといけません。支払いは後で振り込みか、銀行の口座からの引き落とし。IDCに申し込めば無料で作って貰えます。

使い方は、(アメリカから)1-800-309-0080、1-800-381-0080、1-800-903-0080この3つのうちのどれかをダイヤルします。その後音声ガイダンスに従って、自分のカードの番号と暗証番号をダイヤルし、かけたい電話番号へ市外局番からダイヤルします。ちなみに日本からもこのカードを使って海外へかけられます。または、成田空港や関西空港のKDD、IDC、ITJの窓口でプリペイドカードも売っています。

レンタカー:レンタカーはお金に余裕のある人は絶対お勧め!買い物や観光などの行動範囲がぐんと広がります。来年はニューヨーク州と言うことでフェスティバルに参加する前にニューヨークでプロードウェイのミュージカルでも見てフェスティバルまでレンタカーで行くというもの良いと思います。きっと景色はいいはず。

国際免許は最奇りの運転免許センターで¥2700と顔写真と日本の免許証があれば30分くらいで取れます。ハーツやエイビスなどのレンタカー会社の日本の営業所に日本から予約必要。クレジットカードも必要。レンタカー会社は「地球の歩き方」などに載っています。

シティーバンク:今年シティーバンクの口座を作りました。が、一回使っただけでした。お金を引き出すのに手数料が\$2も取られる!ちなみにUS\$をアメリカ国内の自分のシティーバンクの口座に入れることは出来ません。(なんで?)  
まあ口座を作るのはただだから作っておいてもいいかも

写真を撮る人はフィルムは日本で買っていった方が安く上がるかもしれません。8mmビデオをお使いの人はテープは日本で買う方が絶対に安く見つかりやすいです。

来年は是非みなさんも行ってみたいかがでしょうか。

[プロジャグララー 石川 健三郎]



## ショッピング Shopping Mall

ジャグリングが盛んな海外、特に欧米には数多くのジャグリング用品のメーカー・販売店があり、取り寄せたカタログを眺めているだけでも楽しいものです。

このコーナーでは国内外のジャグリング用品の販売を手がけているお店を紹介していきます。

### 【ディービーグループ】

住所 :〒272-0144 千葉県市川市新井3-29-22  
電話 :047-398-4008  
FAX:047-398-6009

主にマジック用品をメインに、ジョークアイテム、パズル、カーニバルマスク等の商品開発・販売を手がけていましたが、ジャグリング用品の販売も行うようになりました。

ジャグリング用品については、入門者(初心者)や未体験の方にターゲットを絞っているようですが、今後はプロフェッショナル仕様の道具も揃えていくとの事です。

### 【商品の注文について】

大型玩具店、トイザらス、東急ハンズなどで購入できますし、通信販売も可能です。

通信販売のカタログは、200円分の切手を同封の上、「カタログ希望」と暗記し、〒272-0144 千葉県市川市新井3-29-22 ディービーグループ(有)宛まで請求。

### 【取扱商品例】

ジャグリングビデオ  
・楽しいジャグリング The Joy of Juggling  
・ジャグルタイム Juggletime(with 3 Scarves)  
・ディアボロ Diabolo Folies No.1/No.2  
ジャグリング用品  
・スカーフセット  
・ボール  
・リング  
・クラブ  
・デビルスティック  
・ディアボロ.....等





## サークル紹介 Juggling Club

このコーナーでは、全国各地のジャグリング・サークルを順次紹介していきます。

なお現在把握しているのは以下のサークル(順不同)ですが、ほかにご存じのサークルがありましたらご紹介ください。

ジャグリングサークル JUG (大阪府)  
 ジャグリングクラブ マラバリスタ Malabaristas (東京都)  
<http://www.komaba.ecc.u-tokyo.ac.jp/g740476/malabaristas/index-j.html>  
 静岡大道芸サークル WAPS (静岡県)  
<http://www.bekkoame.or.jp/ro/tomi/waps/>  
 綾瀬ジャグラーズミーティング JAM (神奈川県)  
 横浜ジャグラーズサークル YJC (神奈川県)  
 筑駒Jugglers (筑波大学附属駒場高等学校ジャグリング同好会)  
<http://www.geocities.co.jp/Berkeley/1242/>

### 【大阪のジャグリングサークル JUG】

JUG は現在大阪にある(おそらく唯一のジャグリングサークル)です。

元々は、イベント会社 DEBUT に所属するパフォーマーの人達が DEBUT という名の下に立ち上げたサークルですが、昨年 JUG と名を改めました。

関西在住のジャグラを中心にプロアマ含めて20~30名程度が、毎週水曜日に練習を行っています。

練習の雰囲気は、月並みな言い方をすれば"和気あいあい"、喋くりながらも、真剣さ漂う感じといったところでしょうか。

ボール、クラブ、デビルスティック、ディアボロ、スティルト、けん玉など、ジャグリングで普通使う大抵の道具を見ることができ、各自思い思いに練習に励んでいます。

サークルをあげての対外的な活動としては、唯一、練習場所の会館で一年に一回開かれるバザーで、バルーン、フェイスペインティングのコーナーを設けたりパフォーマンスを披露することくらいでしょうか。

その他、知り合ったもの同士で、練習日以外にも、仕事や練習で行動を共にしている人は多くいます。

最近のニュースとしては、今年に入って、我らのマドンナ、サリバンを中心に「エンターテインメント研究会」というものが発足しました。ビデオを見たり、実践したりしながら、エンターテインメント全般について意見の交換をしているようです。

JUG はジャグリングに興味のある人に対して基本的にオープンです。また親切な人ばかりです。(ジャグラの気質でしょうね)

ジャグリングに興味を持たれている方は気軽に覗いてみてください。たまにブツ飛びにすごいジャグラが来訪してくれることもあり、例えば、この4月以降でも世界チャンピオンが二人(フランソワーズ・ロッシュとトニー・ダンカン)来てくれました!

そういうときは見に来るだけでも一見の価値アリです。

まとまりのない文章になりましたが(JUG と一緒?)、これからも大阪のジャグリングサークル JUG をよろしく!

[ジャグリングサークル JUG]

練習場所:  
 北勤労青少年ホーム  
 大阪市北区同心1丁目5-27 Tel: 06-352-7030  
 (堺筋線の南森町駅、JR天満駅から歩いて15分)  
 練習日:  
 毎週水曜日 18:00-21:00

[エンターテインメント研究会]

連絡先 :サリバン (Email :GZL04227@nifty.ne.jp)

[JUGメンバ 松浦 昭洋]



トニー・ダンカン氏を迎えて



# レポート Workshop Report

## 【キット・サマーズ・ワークショップ】

1998年6月6,7日に八王子市の青少年研修施設を借りて、アメリカから来日したキット・サマーズ氏によるジャグリングワークショップJuggling with Finesse が開催されました。

キット・サマーズ氏(以下、キット)は、20年ほど前、10代後半から20代前半にかけて、世界でも指折りのジャグラーとして活躍していましたが、不幸な交通事故に遭い、頭を強く打って昏睡状態に陥りました。

半身不随になってもおかしくないほどの状態でしたが、リハビリテーションに励み、現在では左腕などにやや障害が残るものの見事な復活を遂げました。

話すことや歩くことはもちろんのこと、ジャグリングをも再度学び直すという希有な経験を生かして、現在では、ジャグリングのワークショップや一般向けの講演など、積極的な活動を行っています。

これらの長年の活動により、1994年には IJA(International Jugglers Association)から、ジャグリングの教育に関する賞を受けています。

今回のように内容をジャグリングに絞ったワークショップの開催は、おそらく日本では初めてであり、また各地に散らばっているジャグラーが一箇所に集まって2日間通してジャグリングをするという意味でもまだ日本では例の少ない催しであったと思います。

初めての試みでもあり、募集開始当初は反応が鈍かったのですが、最終的には26人もの参加者が集まりました。

大学のサークルで練習している人たち、独りで練習してきて他のジャグラーと初めて交流した人など、バックグラウンドもさまざま、遠く静岡からの参加者もありました。

参加者のレベルの全体的な傾向としては、ボールとクラブを一通りできる中級者が多く、初級者も意欲が非常に高い人たちが集まり、質の高いワークショップを行なうことができました。

また、プロのマサヒロ水野さん、小出直樹さんも、初めての試みだから」ということで、受講者として参加されました。

ワークショップの内容は、キーワードを書いたフリップを使っての講義と実際に道具を使っての実技を交互に組み合わせ合わせたもので、両者の割合は4:6位でした。

講義では、ジャグリング上達のための練習方法や心構え、ルーチンの組み立て方やパフォーマンスの構成方法、実際のパフォーマンスにあたっての心構えや舞台の使い方などについて、キットの経験に基づく簡潔で要点を押さえたアドバイスが次々と講義されました。

実技では、一日目はボール、二日目はクラブに集中して授業が行われました。

授業は、

- ・キットによる技の説明と練習上のポイントの解説をまず聞く。
- ・ポイントとなる投げ方をまず1つのボール/クラブで練習する。
- ・次に3つのボール/クラブで練習する。
- ・ポイントを理解できたら次の技に進むという形で進められ、1セット5分程度で、多彩な技やスタート、フィニッシュの方法が次から次へと紹介されました。

「中級者の人たちは本やビデオで各自勉強しており、かなり多くの技を知っているので、ワークショップの内容では食いつけないのではないか？」というのが企画段階での私の心配だったのですが、そのような心配は不要だったようです。

知っているいても見かけが大変そうなのでチャレンジしたことが無かった技、やってみたがコツが分からずそれきりになっていた技、というものは意外と誰にでもあるもので、「やってみたらできる気がしてきた」「食わず嫌いだったが、やってみると面白いことを発見した」などの感想を持った人が多かったようです。

たとえば寝そべってのジャグリングなどは、ビデオで見たことはあっても練習が面倒なのでやったことが無い人がほとんどで、体育館中で悲鳴があがっていた一方、「あ、こうやればいいんだ!」という驚きの声も上がっていました。

また、キットが現役時代に愛用していた技やコンピネーションも紹介され、技のレパートリーを増やしたいという参加者の要求に十分応えていました。

初級者にとっては、次から次へと知らない技が紹介され、非常に有意義な学習の機会であると同時に、ジャグリングの奥深さを知る上でも良い経験だったようです。

一方で、内容が多すぎて消化不良を起こした人もいたかも知れません。

プロの方々について「さすがだな」と思ったのは、ジャグラーとしての地力(じりき)です。

ワークショップで紹介された技のほとんどをすでにできることはもちろんですが、知らない技を教えられても数回のトライでできるようになってしまうという点で、アマチュアの参加者との底力の差を感じました。

1日目の夜は、宿泊できる施設だったことを生かし、キット秘蔵のビデオの上映会が行われました。

現在活躍しているジャグラーだけでなく、過去の名ジャグラーの貴重な映像が豊富に含まれており、ただ珍しいだけでなく、彼らの技のユニークさや高度なテクニックに驚きの声が上がっていました。

また、キット自身が一線で活躍していた頃のビデオも上映されました。

ワークショップで習った技の大部分が実際のショーの一部として完璧に演じられているのを見たことにより、練習への意欲が湧くと同時に、基本的な技だけでも完璧にマスターしてルーチンを組めば素晴らしいショーを作り上げられることを目で見て理解することができたようです。

2日間の密度の高いワークショップに加え、1日目の夕食後も自由練習、夜のビデオ上映と、まさにジャグリング漬けの2日間でした。筋肉痛になった人もいたようです。

最後にとったアンケートでは、こちらの予想以上に「有意義だった」「満足した」という意見が多く、キットと子ども喜ぶとともに、準備その他の苦勞が報われ、ほっとしました。

今後の改善意見としては、  
・初級者にとっては内容的に少々難しい面もあったのでクラス分けをする。  
・キットは左腕に障害が残っており、特にボールの技を実演することが難しいのでデモンストレータを補助としてつける。  
などが主に挙げられました。

後者については、今回は、受講者として参加されたのにも関わらず、水野さん、小出さんのお二人に力を貸していただいたことがワークショップの質の向上に大きく役立ったと思われます。この場を借りて、お二人に御礼を申し上げます。

言葉の問題に関しては、素人ながら私が通訳をし、キット自身も簡潔で要点を絞った説明を心がけたおかげで、ワークショップ自体の解説には一応支障は無かったと思えますが、個人的な質問などでもどかしい思いをした人もあったようです。

一方、キットは、参加者の熱意とレベルの高さに大変感心しており、ぜひまた来日してワークショップを開きたい、と言っていました。

ワークショップの開催は、参加者のレベルアップに役立つだけでなく、ジャグラー同志の交流という意味でも大変有意義なので、今後も同様の企画が続くとすばらしいと思います。

今回、ワークショップに運営側の立場で参加して思ったのですが、ワークショップで講師として教えるためには、ただジャグリングのテクニックや演出に関する知識を知っているだけでなく、受講者に目標を与え、励まし、引っ張っていく力が必要です。

キットの場合、その力の源は、大怪我を克服する原動力となった前向きなキャラクタとジャグリングが大好きだという事にあるのだと思います。

そして、今回のワークショップで参加者の皆さんに満足していただけたのは、もちろんキット一人の力だけではなく、参加者一人一人が「ジャグリングがうまくなりたい」という強い意欲を持っていたからだと思います。

ワークショップだけに限らず、今回のように様々なジャグラーが参加し、ともにジャグリングをして楽しめるイベントがどんどん開かれるようになることを期待しつつ、ワークショップの報告を終えたいと思います。

補足：

今回のワークショップが企画されたきっかけは、1997年夏にアメリカのJJA大会に先立って開催されたワークショップに関西の松浦昭洋さんが参加し、「日本でワークショップをやってみよう、日本のジャグラー達と交流したい」というキットの希望と「日本でもこのようなワークショップがあれば有意義だろう」という松浦さんの考えが一致したことでした。

もともとワークショップは東京と大阪での開催が予定されていましたが、キットが日本へ向かう直前、空港で盗難に遭うというアクシデントが発生し、大阪のワークショップは急遽キャンセルせざるを得なくなりました。

京阪神のジャグラーの皆さんには大変な迷惑をかける結果となり、関係者一同深くお詫び申し上げます。

その善後策として、近隣のジャグラーを集めての自主ワークショップを中心としたイベントが行われ、こちらもジャグラー同志の交流を深める有意義なものになったようです。

近い将来、関西でワークショップを実現させようという話もあります。その際はまたよろしくお願ひします。

[Juggling with Finesse ワークショップ東京会場世話人  
西川 正樹]



キット氏を囲んでワークショップの参加者たち



# 電腦空間 Juggling on Cyberspace

最近では、パソコン通信やインターネット等、サイバースペースと呼ばれるパソコン・ネットワークの世界の中でもジャグリングに関する多くの情報を見かけられるようになりましたが、そういったサイバースペースではジャグリングはどのように扱われているのでしょうか。  
 具体的には、パソコン通信のフォーラム、インターネットのホームページ、ニュースグループ、メーリングリスト等、様々な形で情報が飛びかっていますが、一つ一つ見ていきましょう。

数えきれないくらいのホームページの中にもジャグリングをテーマとしたものが多くあり、今回はその中でも代表的な一つであるJIS (Juggling Information Service) をメニューに従って紹介します。

## 【ホームページ = JIS の場合 =】

### 【内容】

JISのアドレス (URL) は、<http://www.juggling.org/> で、トップページには以下のメニューが表示され、希望する項目をクリックすれば情報を得ることができます。

#### Juggling Help

初めて3ボールでジャグリングをする人のための入門講座。

ボール、クラブ、トーチ、ナイフ、シェクカップ、ローラボール、ディアボロ、デビルスティック、等々……、道具別のジャグリングに関するトリック (技) の説明とアドバイス、購入にあたってのアドバイス、道具のメンテナンス、FAQ (良くある質問とその回答集)、等々……

#### Jugglers' Home Page

900人ほどのジャグラー、80人ほどのパフォーマー、そして150ほどのジャグリングクラブのホームページへのリンク情報。

過去の著名なジャグラー (Enrico Rastelli, Paul Cinquevalli, Bobby May, Francis Brunn, W.C. Fields, Jenny Jaeger, Massimiliano Truzzi, Kara) に関する経歴等の詳細情報。

#### News and Old News

ニュースグループ (rec.juggling) で投稿された記事の閲覧。

#### Picture Gallery

ジャグリングに関係する写真、ステレオ写真、イラスト、マンガ、GIFアニメーション、クリップアート、ASCII文字によるアニメーションの展示。

#### Movie Theater

過去 (Enrico Rastelli, Bobby May) そして現在 (Anthony Gatto, Albert Lucas) 活躍しているジャグラーのフィルム、各種ボールトリックのデモンストレーション・ビデオ、各種フェスティバルでのクリップ・ビデオ、コンピュータアニメーション。

#### Juggler's Mall

ジャグリングの各種道具を取り扱っている販売店を地域別に紹介。  
 (USA、カナダ、イギリス、ドイツ、オーストリア、ベルギー、デンマーク、フランス、イタリア、オランダ、スペイン、スウェーデン、スイス、アルゼンチン、オーストラリア、チリ、イスラエル、ニュージーランド、シンガポール、南アフリカ、タイ)

#### Festivals

これから開催されるフェスティバルの予定紹介。

#### Club Meetings

全世界のジャグリングクラブのリスト。  
 (USA、カナダ、UK、ドイツ、オーストリア、ベルギー、デンマーク、フィンランド、フランス、ギリシャ、アイルランド、イタリア、オランダ、ルウェー、ポルトガル、スペイン、スウェーデン、スイス、オーストラリア、イスラエル、日本、ニュージーランド、フィリピン、シンガポール、南アフリカ)

#### Magazine Rack

アメリカ、欧州等のジャグリング雑誌の紹介。  
 Catch, The Flying Kiwi, Juggler's Bulletin, Juggler's World, Cascade, Oz Juggle, Two Ly Press

#### Juggler's World Archive

JAで年4回発行している雑誌Juggler's Worldの過去の記事を電子化。閲覧可能。

#### Juggling in the Media

ジャグリングを見る事ができる映画のリスト、ジャグリングに関する評論・記事、代表的なジャグリング書籍の電子化 (オンライン書籍)、ジャグラーへのインタビュー記事、ジャグリングの書籍・ビデオの紹介。

#### Juggling Software

ジャグリングの動きをシミュレートしたコンピュータプログラムを紹介。  
 プログラムは数十本紹介され、表現法はアニメーションを用いているので教習用として最適で、中でも松岡 顕氏 (Email: GBA03100@nifty.ne.jp) が開発したJuggleMasterは評判が良く秀逸。

#### Juggling Organizations

全世界におけるジャグリングの組織を紹介。  
 Christian Jugglers Association, European Jugglers Association, International Jugglers Association, Jewish Jugglers, JuggleStay, New Zealand Juggling Association

#### Search for Any Words or Phrases

任意の単語やフレーズを入力すれば、このJISの中から関連した記事を検索。

### 【おわりに】

このJISは英語で書かれていますが、ジャグリングに関する情報量の多さには圧倒されるので、ジャグリングに関わっている方ならば一度はインターネットにアクセスして覗いてみて下さい。様々な人々がJugglingをいろいろな切り口からとらえて表現し、ほとんどボランティアの手による積み重ねで、これだけのホームページを作り上げ、継続して運営していくその熱意には驚嘆と共にうらやましささえ感じます。

[安部 保範]





## ビデオ紹介 Video Review

### 【Juggling Step-by-Step】

制作: Dave Finnigan (Jugglebug)  
価格: US\$25.00  
120分 (NTSC-VHS)  
ISBN0-9615521-2-3

#### 【内容】

Unit1 : Scarves/Beanbags/Balls/Rings/Clubs  
Unit2 : Cigar Boxes/Devil Sticks/Diabolo/Hats/  
Passing Balls  
Unit3 : Advanced Club Juggling/Passing 6,7 and 8  
Rings and Clubs  
Unit4 : Juggling 4,5,6 and 7 Balls/Club Swinging,  
Torches

#### 【ひとこと】

1Unitあたり30分の構成で、全体でおよそ120分となります。

まずDave Finnigan自らスカーフ、ビーンバッグ、ボール、リング、クラブ、トーチ、ディアボロ、デビルスティック、シガーボックスといったジャグリングの道具を一通り説明してから、道具単位のトリック(技)の説明に入っていきます。

具体的にはスカーフ、ビーンバッグ、リングといった物体を1つ、2つ、3つと増やし、3つまでを投げるまでの基本的なやり方を説明し、その後は種々のトリックをおり混ぜた模範演技(デモンストレーション)が続きます。

模範演技で披露される多くのトリックに関しては、スローモーションを取り入れたりはしているものの、説明不足といった感は否めません。

また「The Joy of Juggling - video (US\$14.95/30分/NTSC-VHS)」というビデオがありますが、これはこのビデオのダイジェスト版といったところです。

さらに本ビデオは、教本「The Complete Juggler」(本号で紹介)と内容に沿っているため、あわせて利用するとより効果的でしょう。

#### 【連絡先 / 購入先】

書籍【The Complete Juggler】の記載内容と同じ。

[安部 保範]



## レポート Festival Report

### 【ヨーロッパ・ジャグリング・コンベンションに参加して = その1 =】

私はこの度、イギリス、スコットランドのエジンバラで開催(1998年8月3日~8日)されたヨーロッパ・ジャグリング・コンベンションに参加してきました。私にとって刺激的な体験を、少し記してみたいと思います。

会場となったメドウバンク・スポーツセンターは、エジンバラの中心街であるウェイバレイブリッジから約2キロ離れたところにあります。ここには、屋外のトラック競技場のほかに、室内のホール施設がいくつかあり、今回のコンベンションでは4つのホールが練習用として使われました。外部への出入り口には警備専用の係員が目立ち、通行の際にはチェックが厳重にされます。参加者はコンベンションの参加料を払うのと引き換えにプレートが渡され、再入場の際にそれがないと立ち入れないようになっています。多くの方がそのプレートを紐で首につるして練習していました。もちろん私も。参加料は67英ポンド(1英ポンド=240円とすると約1万6千円)です。

参加者はヨーロッパの人がほとんどで、私の聞いた限りでは以下のようになっています。イギリス、フランス、ドイツ、ギリシャ、スペイン、イタリア、オランダ、ポーランド、アメリカ、ブラジル。日本人はどうも私一人だったようです。

野毛大道芸や静岡のワールドカップ・イン・静岡のようにお客を前にジャグラーがショーを見せる形式かと想像していましたが、実際はそうではなく、大勢のジャグラーがヨーロッパ各地から集まり、さまざまな形で情報交換がされ、練習をする勉強会といった感じでした。もちろんプロのショー(4, 5, 6, 7日の2時から)もありましたが、ほとんどの時間が個人練習やワークショップによって構成されていました。

1日の流れは大雑把に次のようになります。

10時頃からだんだんとホールに人が集まってきて午前中は皆勝手気ままに練習しています。12時頃から1時間刻みで18時頃までワークショップが開かれ、自分の出たいものに出ます。出ていないときには

個人練習で、途中好きなときに食事をしたり、休憩して人の芸を見たり、ショッピングに行き道具を見たりします。20時より22時までプロのショーを観ます。ショーの後にレネゲイドといわれる自発的に行われるショーがあったようですが、こちらの方は私は参加しませんでした。

私は会場から2~3キロ離れたホテルより毎日バスで通っていましたが、多くの人は会場の敷地内にテントを張って寝泊まりしていました。なかにはホールに寝袋を敷いていた人もいました。もう少し会場に近いホテルに泊まればレネゲイドに参加できたかもしれません。今回はバスの関係で23時頃ホテルに戻りました。シャワーを浴び、それから1時間くらい教わったことのおさらいをし、0時半頃就寝する毎日でした。しかし1時間でおさらいできるようなものではありません。何時間あっても足りません。それほど練習することはたくさんありました。

今回のコンベンション参加で、すべてのものを吸収できたというわけでは決してありません。ほんの触りの部分を少し経験させてもらったにすぎません。教わったことを思い出しながら、帰国した今、練習をしています。

ワークショップや個人練習の様子について、次回もう少し書いてみようと思います。(つづく)

[YJCメンバ 喜多村 充伸]



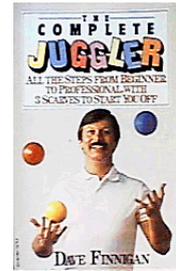


## 書籍紹介 Book Review

### 【The Complete Juggler】

-All the Steps from Beginner to Professional-

著者:Dave Finnigan,Bruce Edwards,Allan Jacobs  
発行:Jugglebug  
価格:US\$14.95  
ページ:574p.  
ISBN:0-9615521-0-7  
1987年初版



#### 【目次】

Acknowledgments/Juggling and You/Scarf Juggling/The Basic Cascade/Advanced 3 Ball Juggling/Juggling 4 and 5 Balls/Ball Mastery/Juggling 3 Clubs/Juggling 4 and 5 Clubs/Club Mastery/ Cigar Boxes/Devil Sticks/Diablo o/Hat Manipulation/Plate Spinning/Ball Spinning/Balance and Auxiliary Equipment/Performing/Juggling Games/ Teaching Juggling/Making Money with Juggling/Juggling and Health/Spreading the Joy of Juggling/Visiting a Juggler's Convention/ Achievement Awards/Appendix1:Useful Resources and Address/Appendix2:Glossary of Juggling Terms and Index of Names

#### 【ひとこと】

ジャグリングの入門書です。

目次を見てお分かりの通り、前半の部分では、スカーフから始まってボール、リング、クラブ、シガーボックス、デビルスティック、ディアボロ、ハット、皿回し、ボールスピニングそしてバランス芸と、ジャグリングに関わる一通りの演目について、文章を控えめに豊富なイラストで、様々なトリック(技)を解説しています。

ただしトリックの解説面では、例えばミルズメスがなかったり、あるいは文章としてもイラストとしても不十分なところはあるし、確かにこれより優れた教本はありますが、初心者がまずジャグリングというアートがどついたものか、トリック面から全般的なイメージをつかむ上では、最適な教本の一つにあげられると思います。

面白いのは後半の百数十ページにわたり、練習での諸注意、ルーティンの組み方、ジャグリングによるゲーム、様々な環境下でのパフォーマンスの注意事項、ジャグリングの教え方、ジャグリングで儲けるための

各種アドバイス、コンベンション、団体、あるいはジャグリング用語の説明と、いろいろな切り口からジャグリングをとらえて説明している点です。

また「The Joy of Juggling - the book (US\$5.95/113p./ISBN0-9615521-3-1)」という本もありますが、これはこの教本のダイジェスト版といったところです。

さらに本書はビデオテープ「Juggling Step-by-Step」(本号で紹介)と内容が沿っているので、あわせて利用すると効果的でしょう。

#### 【連絡先 / 購入先】

JUGGLEBUG  
a division of Sportime International  
One Sportime Way  
Atlanta,GA 30340-1402,U.S.A.  
(Tel:770-449-5700/Fax:770-263-0897)  
(Email:jugglebug@sportime.com)

【安部 保範】

## 編集後記

「ジャグラーズ通信(創刊号)」は、いかがでしたでしょうか。  
最初は1~2ページの予定でしたが、なんと8ページもの大作?になり、編集者本人が一番ビックリしています。原稿執筆者の方々には、お忙しい中、筆をとっていただき心より感謝しております。

ご感想ご要望、あるいは情報(または原稿)提供をお待ちしております。  
今のところ無料で配布をしておりますので、第2号の購読をご希望の方は、郵便番号 住所 氏名 を安部宛までご連絡下さい。出来上がり次第郵送いたします。(当然ですが、ご連絡いただいた内容は、どこにも流しませんのでご安心下さい)

編集発行:安部 保範  
住所:〒247-0014 横浜市栄区公田町424-9  
PHS:050-1055083  
Email:abesan@bf.mbn.or.jp  
Nifty-Serve:QGB02014  
Web-Site:見世物広場 <http://plaza4.mbn.or.jp/> chansuke/

#### ひとり言

本紙1ページ目上段のイラストは、「JUGGLING-the art and the artist-」から Slaverno Bros.の写真をベースにして描いたのですが、なんと今回紹介したWeb-Site「JIS」のホームページでも同じ図柄を採用していました。偶然にもたがってしまいましたが、次号は違うイラストを描かなくては

